番　　号	17-7	県　別	広島	実施団体等	佐東地区まちづくり協議会	代表者	海徳　　貢
事 業 名	古川ホタルの里づくり事業				実施場所	広島市安佐南区佐東地区（太田川水系第一・第二古川）	
事業目的	区画整理事業、再開発事業が進む当地区では、第一・第二古川が親水性の高い川として多くの住民に親しまれ、憩いの場となっている。昔、ホタルが飛び交っていた光景をよみがえらせ、次代を背負う子供達に古里として自分達が暮らすまちに愛着を持たせるとともに、この活動を通じて、地域の良好なコミュニティの形成を図る。						
事業概要	昨年度井戸水だから大丈夫との思い込みで 9 月を過ぎた頃にホタルの幼虫を、飼育器に入れたが、餌になるカワニナと共に全滅した。原因の究明に当たったところ、飼育器のある建物全館に、この井戸水を使用するために滅菌装置が備え付けられていることが判明した。どのように改善すれば幼虫は生息できるのか、その解決を図ることを今年度の主な目標とした。						
事業効果	① ホタルの里づくり活動を通して、地域のコミュニケーションが図られた。 ② 古川の清掃やホタルの幼虫の放流により、会員の環境に対する関心が高まってきた。 ③ 毎年 3 月に開催される“梅林春こい祭り”において、ホタルの幼虫の放流が定着してきた。 ④ 5 月から 6 月にかけて、ホタルを見に第二古川を訪れる地域の人達が増えてきた。						
活動状況	 紙コップの中の幼虫を古川に放流している子どもたち（春こい祭） 冷却装置・ろ過器を取り付けた２列の飼育器 古川ホタルの里						
特記事項							